



九国の扉

# キュウトビ

vol.18

2020

学校法人九州国際大学  
学園広報誌

夢に向かってがんばるキミに、エール！

キュウトビ  
AWARD  
2020

◎キュウヒト探訪 vol.2 [九州国際大学付属高校 教諭 伊藤 誠]

◎コロナに負けない！マナビを止めない！ ～新型コロナウイルスに対する「九国」の取り組み～

◎人生の扉 第9話：九国ブログ ◎学校法人九州国際大学 令和元年度決算報告



# キュウトビ AWARD 2020

夢に向かってがんばるキミに、エール！

この1年、  
なにかにひたむきにがんばって  
大きな成長を遂げた学生・生徒を、  
キュウトビ誌上で  
表彰、紹介します。







逆境が強い  
心を鍛えて  
くれたで賞



ほんの小さなきっかけで、ひとたびスイッチが入ると驚くほど成長していく。「九国」からそんな若者たちがたくさん巣立っていきました。大切なのは、始めること。始めたなら、続けること。その過程には、大変なこと、つらいこともあるかもしれませんが、たどり着いた場所には、きっとこれまでに見たことのない風景が広がっているはずですよ。「九国」は、そんな新しい風景を見るために挑戦する人たちへ、惜しみないエールを送り続けています。この1年、夢に向かってがんばった人、勇気をもって挑戦し続けた人、大きな成長を遂げた3人の生徒・学生さんをご紹介します。

## University

九州国際大学 現代ビジネス学部 国際社会学科 3年生 喜屋武 未久さん

以前は頑固で一直線の性格でしたが、留学後はまわりに気を配り、物事をさまざまな角度から見つめることができるようになったとか。将来の夢は、警察官。体力には自信がないけれど、留学で培った適応能力と積極性には自信あり！

## High School

付属高校 2年生 ルードウィッグ 茉凜佳 ケリーさん

趣味は茶道。将来は日本文化を広め、性別や国の隔たりのない社会で活躍するのが夢とか。S特進クラスの授業スピードは速いけれど、同じ目標に向かってがんばるクラスメイトの存在が勉強のモチベーションを上げてくれるそうです。



みんなと  
心ひとつに  
なれたで賞

経験が自信に  
つながって  
いったで賞



## Junior High School

付属中学校 3年生 大田 徠瑛さん

入学してから苦手だった化学の面白さに目覚め、ドイツ語やフランス語、ラテン語にも興味津々の大田さん。生徒会活動も全力投球！片道2時間近くかかる通学時間も苦にならないほど、学校が楽しいと笑顔で語ってくれました。





# 困難な道も、「なんくるないさー」。 コロナ禍での 台湾留学が教えてくれたこと。

※なんくるないさー / くじげず正しい道を歩むべく努力をすれば、いつか良い日が来るとい意味の沖縄の方言



現代ビジネス学部  
国際社会学科 3年生  
きやん  
喜屋武 未久さん

今年の3月から7月まで台湾の国立高雄餐旅大学に留学しました。3月と言えば日本でも新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されていた頃。けれど、「就活で忙しくなる今後のことを考えると「今しかない!」と思いきって決断。幸い台湾では、コロナウイルスの封じ込めに成功しつつある頃だったので、現地ではそれほど不安を感じることはありませんでした。つらかったのは、言葉が通じないこと。授業もクラスメイトとの会話にもついていけず、寮にもりがちに。しかし、これでは日本にいるのと同じだと気づき、会話をひたすら丸暗記して話し続けることで、やっと通じるようになりました。クラスメイトと話せるようになると、日本人の私にはない視点や発想に驚かされることばかり。毎日が刺激的で、あつという間に時間が過ぎていきました。出入国時などコロナ禍での留学は大変なこともありましたが、多少の困難には折れない心が鍛えられました。台湾の方に親切にしていたいだいたり、いつもゼミの先生が気遣って連絡をくださったったり、人の温かさを改めて実感した4か月間でもありました。



夢を目標に変える、  
2学部3学科10コース。  
ここから、想像以上の未来が広がっていく。

あらゆる職業に求められる  
論理的思考力と課題解決力を身につける。

法学部

法律を学ぶことは、法の背景を知り、その考え方をすること。それは、論理的思考力や課題解決力、チームワークを養うことにつながります。これらの能力が今、公務員や会社員をはじめ、あらゆる職業で求められているのです。

法学部法律学科では、地域住民や行政と連携したゼミ学習や、学部内に設けた法人組織を運営するなどの実践的な学びを通して、社会で役立つスキルを身につけていきます。また、これからの時代は、学部を問わず国際的視野が不可欠。法学部の学生にも海外で学ぶチャンスが広がるよう、留学制度の整備を進めています。

法律学科 リスクマネジメントコース/キャリアコース

グローバル＆ローカルの視点から  
社会をナビゲートできる人材を育成する。

現代ビジネス学部

現代ビジネス学部には地域経済学科と国際社会学科があり、地域経済学科では経済学や経営学をベースに地域が抱える課題を分析し、その解決に導く能力を養成。地域

社会の即戦力を培います。国際社会学科では海外実習が必修となっており、語学力や国際教養、異文化理解力などを実践的に身につけることができる独自のカリキュラムを構築しています。本学部が育てるのは、グローバルとローカルの視点から社会をナビゲートできる人。地域で、世界で活躍できる次代のビジネスパーソンです。

地域経済学科 経済コース/経営コース/地域づくりコース/  
観光ビジネスコース/スポーツマネジメントコース  
国際社会学科 英語コース/ハングルコース/国際コース

4年間で必ず成長するしくみがある。九国大・学びのポイント！

Point 1

1年生から始まる、実践教育の柱。  
伝統のゼミ活動



九国大の実践教育の柱となるのが、先生と少人数の学生が対話を重ねながら主体的に学ぶゼミ学習です。1年次から全員が入門セミナーを履修し、スタディスキルを学習。地域の人々や企業と連携しながらアクティブに学ぶ機会が多いのも本学のゼミの特長です。協働力、コミュニケーション力とともに地域の役に立ちたいという「志」も育みます。

Point 2

使える語学力、国際感覚を養う。  
留学・海外実習



国際大学にふさわしい多彩な留学・国際交流プランを用意しています。行先も韓国、中国、台湾、インドネシアへの交換留学に加え、アメリカやカナダ、イギリス、フィリピンなど英語圏への留学もパワーアップ。海外実習が必修の国際社会学科の学生はもちろん、他学科からも毎年多くの学生が海外へ飛び出し、語学力や国際感覚を磨いています。

Point 3

入学前、入学後も不安にさせない。  
入学前&初年次教育



初めての大学生活にスムーズに溶け込めるよう、きめ細やかな支援体制を整えています。学校推薦型選抜・総合型選抜合格者を対象とした入学前教育から始まり、入学後はゼミの担当教員による担任制度、基礎教育センターとの連携による学修サポートや資格サポートにいたるまで、学びの伴走者として手厚く根気強くアプローチしていきます。

地元九州の企業に強い！  
充実の就活サポート体制

建学より地域とともに歩んできた九国大。キャリア支援室では地元九州の優良企業とのパイプが強く、企業の社風やどのような人材を求めているか熟知しています。さらに教職員との密な情報交換により、学生一人ひとりを知りつくしたうえで、きめ細やかな就職アドバイスを行っています。だからこそ、学生と企業のベストマッチングを実現することができるのです。学生の将来を見据え、1年次から就職に向けたプログラムも用意しています。

成績だけでなく、人物も重視！新・奨学金制度を導入。

1930年の創起以来、地域の発展に貢献する人材を輩出してきた九国大。その歴史と伝統を継承する優秀な学生を育成するために、2021年度より新たな学術奨学金を導入します。本学の学歌の歌詞にある「橘」にちなみ、橘奨学金と命名しました。

学術奨学金  
橘奨学金  
TACHIBANA

入学試験の成績のみではなく人物重視の選抜を行います。また、在学中は勉学に励むだけでなく、大行事(オープンキャンパス等)の活動にも参加していただくことが条件となります。

■授業料100%免除型[年間](採用予定人数7名)

■授業料50%免除型[年間](採用予定人数16名)

入試区分 一般選抜、大学入試共通テスト利用選抜

選考基準 入学試験の成績並びにエントリーシートによる総合評価

誰一人欠けても、  
モザイクアートは完成しない。  
協調することの  
大切さを学んだ生徒会活動。



付属高校 2年生

ルードウィッグ  
茉凜佳 ケリーさん  
(泉中出身)

高校を決める選択肢はさまざまですが、私の決め手は「生徒会」でした。咲橋祭（文化祭）の巨大なモザイクアートに感動し、私もこんな素晴らしい活動に参加したいと思ったのがきっかけです。中学時代も生徒会活動に携わっていたので、やる気満々で入学し、生徒会へ。ところが思い入れが強く、しかも負けず嫌いなためメンバーとしばしば衝突するように。「一生懸命やっているのに、なぜわかってくれないの？」と悩む日々。しかし、生徒全員が協力しなければ約3,000枚ものパーツでつくるモザイクアートが完成しないように、1人でできることには限りがありません。私には人の意見を聞くというスタンスが欠けていたことに気づいたので。以来、人の話に耳を傾け、いい意見には素直に「いいね」と言えるようになりました。今年の7月に生徒会長に就任しましたが、残念ながらコロナの影響で咲橋祭は中止に。けれど、こんな時だからこそみんなと想いを共有したい。モザイクアートのように、みんなとひとつになって何かできることはないか？メンバーとともに、新しい生徒会活動を模索しているところです。



## 夢を叶え、未来へつながる3年間。 進路に合わせた5つのクラスで、 学力、人間力の高みをめざす。

11年連続、県内最多の受験者数。選ばれるには、理由がある。

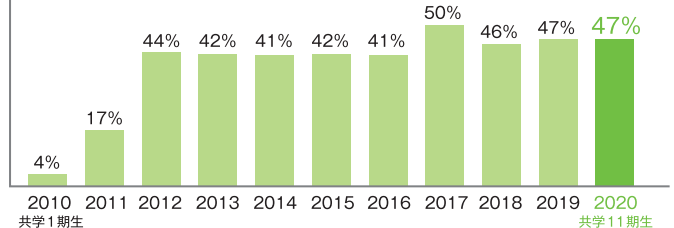
本校は、2010年の男女共学化以降、福岡県内で11年連続最多の受験者数を集めています。さらに、滑り止めではなく、第一希望の高校として入学する生徒が今年度も約半数に達し、北九州地域におけるこれまでの私立高校のイメージを変えてきました。このことは、「新しい学校を創る」という私たちのコンセプトに共感していただいたことの表れだと感じています。学校という「器」を変えるだけでなく、「中身」をより良く改革していくことが、私たち付属高校の目標なのです。

### ■九国付第一希望入学率

2020年度 第一希望入学者数

208名(一般入試) + 79名(推薦入試) = 287名

滑り止めではない私立高校へ躍進中!

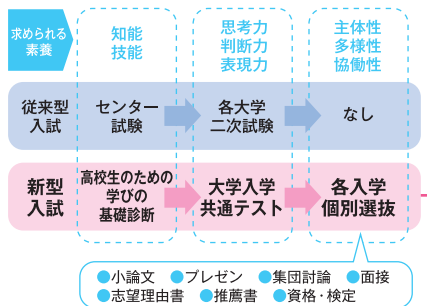


### 進路に対応した5クラス編成。 年に1回、クラス替えを実施。

「難関」「S特進」「特進」「進学」「トップアスリート」と、進路に対応して5つのクラスを編成しています。一般的な私立高校では上位クラスにいくに従い定員が少なくなるのに対し、本校は「特進」クラスの生徒が最も多くなっています。学校全体の雰囲気には特進クラスのカラーが最も強く反映されており、「進学」クラスからステップアップしやすいのも特長。進級時には成績及び本人の希望に応じてクラス替えを行っています。

### 大学入学共通テスト 対策プログラム

2021年から新しく「大学入学共通テスト」が導入されます。グローバル化・高度情報化にともない、急速に変化する日本の社会状況にあつて、実社会ではもちろん、大学で求められる力も変化してきています。本校では、新しい大学入試に対応するために独自の入試対策を実施しています。充実の学習計画により着実に力をつけていくことで希望進路への「現役合格」へと導きます。



#### 九国付の新型入試対策

|                                                |                                                               |
|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| <b>知能技能</b><br>授業<br>課外授業<br>個別指導<br>自習スペースの解放 | <b>思考力・判断力・表現力</b><br>●習熟度別のクラス編成<br>●英検、漢検取得の推進<br>●学習会、学習合宿 |
|                                                | <b>主体性・多様性・協働性</b><br>●ITC教育の活用<br>●実践的な英語教育<br>●グローバル教育プログラム |



### 地域最高水準のICTを活用

幅広い教育活動をめざし、生徒が1人1台ずつのタブレット型PCを所有。全館にWi-Fiを完備し、全教室にインタラクティブプロジェクターを設置しています。地域トップレベルのオンライン授業も好評です。

### 大学のその先を見据えた キャリア教育と進路サポート。

#### 高校卒業後が見えてくる キャリアサポート

1年次に関東・関西地域の大学視察を実施。憧れの大学を実際に自分の目で見ることで、生徒の向学心と受験意識を高めます。また、全国の大学を招き、保護者の方にもご参加いただける大学進学説明会を学内で行っています。大学の先生方による出前授業も年間20講座以上開催しています。

#### 目標の進路を実現させる 進路サポート

文理選択やクラス選択は、将来の進路を決める重要な選択です。経験豊かな教員が選択のポイントを1年次からわかりやすく指導していきます。大学入試に欠かせない小論文や面接対策も、エキスパートの外部講師を招いて講習会を実施しています。

#### 放課後・休暇中の 学習フォロー

学習の疑問・質問にも各教員が対応できる体制を整えており、生徒の習熟度や個性を踏まえながら手厚く指導します。春期・夏季休暇中は県内外の施設で学習会や学修合宿を実施。いつもと違う環境で友人たちとともに学ぶことで、勉強へのモチベーションを高めます。

### 未来を創る国際人を育てる。 グローバル教育と海外留学

#### グローバル教育プログラム

グローバル時代への対応だけでなく、これからの国際社会においてリーダーシップが取れる人材を育成するために、英語の運用能力の向上に力を入れています。1年次にネイティブスピーカーによる英会話の授業を行い、定期考査では独自のオールリスニングテストを実施。姉妹校・友好校との国際交流や、海外の大学生や留学生とのグループワーク、英語集中特訓プログラムなどにより、英語の4技能「読む」「聞く」「書く」「話す」力をバランスよく養います。



※令和元年度授業風景

#### 海外留学プログラム

世界に飛び出し、異なる文化や価値観に触れることは、大きな飛躍と成長の糧となります。本校では、若い好奇心と向学心をあと押しする海外留学・研修制度を設けています。

#### ◆長期留学

海外の歴史や文化を深く学べる約1年間の長期留学。帰国後は同級生と一緒に進学し、3年間で卒業できます。参加した生徒たちは、その経験と語学力を活かし、国内に限らず海外の大学にも進学しています。

#### ◆短期留学

希望者は夏に韓国(2泊3日)、春にオーストラリア(約2週間)のホームステイを含めた海外研修に参加できます。ホストファミリーとのコミュニケーションや海外文化を学ぶ体験プログラムが充実しています。





「いいじゃん！やってみようよ！」  
その一言が、  
新しい経験の扉を開いてくれた。



付属中学校 3年生  
大田 徠瑛さん

第16期生徒会長を務め、漢字・英語検定2級、数学検定準2級を取得。校内で誰も達成したことのない2級三冠王をめざし、数学の勉強に励んでいます。と言うと、自信に満ちた優等生のようにですが、以前は人見知りで、些細なことで落ち込みやすい性格でした。そんな私を変えてくれたのが、1年生の時に応募した中高生対象のヘアメイクコンテストです。もともとおしゃやれやファッションに興味があったことから美術の先生に相談したところ、「いいじゃん！やってみようよ！」担任の先生や友人たち、友人のお母さん方まで応援してくださり、夢中でつくり上げた作品が奨励賞を受賞することができました。「無駄な経験はない。ぜんぶ自分の身になる。」と両親から言われて育ち、いろいろなことに挑戦してきましたが、私の夢を叶えるために、たくさんの方がエールを送ってくれたことは初めての経験！それが励みと自信になり、その後の生徒会活動や検定受験につながっていきました。もちろん失敗することもあるけれど、失敗も成功もかけがえない私の財産。それと、ともに支え合う仲間がいれば、無敵です。



## 未来を創る力を育てる、伸ばす。 私立ならではの、先進的かつ ユニークな教育プログラム。

### K点突破を合言葉に、自分の「限界」を超える。

K点とは、スキージャンプ競技でこれ以上跳ぶと危険であるという「極限点」を意味しますが、実際にはこれを越えないと入賞は難しいと言われていています。実は、私たちの心にもK点があります。目には見えない自分の限界点です。それは思い込みであり、突破することは可能です。本校では何かを始める時の消極性をK点として、これを突破し、「未見の我」を発見できるよう指導しています。K点突破を合言葉に、生徒のやる気、積極性を引き出します。



### より高い進路の実現をめざす 独自の教育設計

#### 高校自由選択制+高校受験

本校では、進学にあたってどの高校を選択するかは本人と保護者が決定する高校自由選択制をとっていますが、「高校入試」を学力形成の絶好の機会ととらえ、高校受験を通して、知識や技能、思考力・判断力・表現力を育てるようにしています。

#### 三冠王+準2Wクリア

検定試験は履歴書等に記載できる資格にとどまらず、学習到達度を示す目安にもなります。そこで、英検・漢検・数検3つの検定を学習の柱に据え、生徒全員がすべての検定で中学卒業レベルに相当する3級合格をめざします(三冠王)。また、複数の検定で高校課程の能力を要する準2級や2級以上の合格をめざす「準2級Wクリア」への挑戦もサポートします。

#### 1年次2人担任制

生徒がスムーズに中学生活に入っていけるよう、1年次に男女2人の担任を置き、生徒をきめ細かく観察、指導します。生徒にとっては担任と気軽に話せる環境となり、教員にとってはよりの確かな指導が可能に。いじめが起りにくく、快適に学習に取り組める環境となります。また、複数教員が授業を担当し、お互いが密に話し合いながら教科指導を進めています。



### 基礎から着実に伸ばしていく 充実の学習プログラム

#### 【PET&ACT】

高校入試に対応するためには2つの力を身につける必要があります。基礎知識を定着させるために主要5教科の100問暗記テストPET(パーフェクト・トライ)を各学期末に実施。定期考査では論述形式のテストACT(アクティブ・トライ)を採用。基礎と応用、総合的な学力の向上をめざします。

#### 【速習クラス】

すべての生徒が人間力を伸ばすことを基本に据えている本校では、いわゆる「習熟クラス」のような成績によるホームルームは編成しません。しかし、どうしても個人差の大きい英語、数学では速習クラスを設け、よりハイレベルの学力を養成することで、難関私立受験対策にも対応しています。

#### 【家庭学習の定着=KTN】

学力を伸ばす唯一の方法は「継続」です。漢字の書き取り、計算ドリル、英単語の暗記など基本から始めて、自分の学習レベルに合わせた目標を設定。K点突破ノート(KTN)を使って日々の家庭学習に取り組みます。これを確実にクリアしていく過程を通して「自学力」を鍛えます。

### 先進的な学習環境のもと、 グングン力が身につく!

#### 【ICタブレット】

教員は従来の黒板と併用しながらICタブレットを活用しています。タブレットは手で操作できるので効率よく授業を進められます。また興味を惹く内容などを大きく映し出すことで生徒の学習効果を高めます。



#### 【プロジェクター型電子黒板】

絵や図、動画などを大画面に映し出すことで、学習内容がよりわかりやすくなりました。板書の時間が短縮できるので生徒たちの考える時間が増え、集中して学習に取り組むことができます。各教室に常設しています。

#### 【ICTルーム(図書館)】

生徒用ノートパソコンを80台完備。図書館の机はレイアウトを自由に変えられ、グループで調べたり話し合ったりするのに最適です。ノートパソコンを持ち込めばインターネットも使用できるICTルームになります。



### 友情と生きる力を育てる こころcolorの体験学習

本校では知・徳・体の調和のとれた生徒を育成するために、「心から」「自分の色」で取り組む「こころcolorの体験学習」を行っています。友だちとの絆を深める「宿泊研修」や地域の歴史や文化に触れる「北九ワーク」など豊富な体験学習に挑戦することで、友情とたくましさ、思いやりにあふれる生きる力を育てていきます。





# キュウヒト探訪

Interview

VOL  
2

教師の「本気」を見せると、生徒は変わる。  
全力指導の現場に、「笑顔」は必要ありません。

九州国際大学付属高校 教諭 伊藤 誠







## きっかけは、志望校への合格を果たせなかった生徒の一言。

「生徒に厳しく接する」。初めて担任を受け持った時から、そう決めています。しかし、クラスが3年の秋を迎える頃、卒業も近いことから少しだけ緩めてしまいました。その後、大半の生徒が志望校への合格を果たすなか、力はあるのに夢叶わなかった生徒の言葉が私に重くのしかかりました。「もう少し先生が厳しければ受かったかもしれない」。以来19年、生徒たちの前で笑ったことは一度もありません。いわゆる先生と生徒の距離が近い、フランクな教育を掲げる高校校もありますが、本校は進学校であり、その目的は生徒たちの学力を伸ばすこと、志望校に合格させることにあります。高みをめざすスポーツ選手は、決して笑いながら練習をしません。真剣勝負の連続です。私は、学力を伸ばすのにもそういう緊張感がないと結果は出せないと考えています。

また、水道の蛇口が壊れて緩むと水が出っぱなしになりますが、蛇口をしつかり締めなければ水の量を自在に調整することができるよう、生徒との間には最初から一線を引いています。生徒たちが入学したその日に、厳しい指導を宣言することから私の担任としての仕事が始まります。

いわゆる「褒め育て」の一環として、先生にも笑顔や親しみやすさを求める風潮がある昨今、この19年、真逆の教育スタンスを貫き続けているのが、付属高校教諭の伊藤 誠先生です。生徒の前では決して笑顔を見せることのない厳しい指導の裏側には、どのような思いが込められているのか、お話をうかがいました。

## 教師の本気を、背中を見せる。生徒の意識が変わっていく。

生徒に厳しさを求めるからには自らにもストイックであること、努力を怠らないことを命じています。どのような状況であれ授業は絶対に手を抜かないことはもちろん、東大・京大をはじめとする難関大学受験対策として毎年予備校の教員クラスで学び、受験指導のスキルアップを図っています。毎日10km走ることで体調管理を行っており、この19年、風邪で休んだことはありません。口先だけなら何とでも言えますが、生徒たちはちゃんと私の背中を見ていますから。「先生がそこまでやるなら、自分たちもやらないと」。まだ中学生気分が抜けない1年生でも、2カ月もすればクラスの空気が引き締まり、生徒の顔つきも別人のように変わってきます。こちらの本気を見せることで生徒の意識が変わり、信頼関係が築かれていきます。

なかには、なかなかやる気が起きない生徒もいますが、そのような時も強制的に押さえつけたり、感情的になって声を荒げたりすることはありません。本人の持っている「可能性」の戸をたたき、無理やりこじ開けるのではなく、ひたすらたたき続ける。やがて生徒が自発的に戸を開けるまで根気強く働きかけるようにしています。

## 厳しい社会を生き抜くための、知恵とたくましい心を育む。

「人間的成長なくして学力の伸長なし」をコンセプトに、人間力を鍛える指導にも力を入れています。社会人に求められる素地は、令和の今も昔も実はあまり変わっていないと思っっています。若いうちであれば、元気に挨拶ができることや率先して動ける力などが不可欠です。進展するAI社会ではルーティンワークは機械にかなわないものの、気くばりや心くばりのある仕事は人間にしかできないこと。生徒たちにはそういった配慮が無意識のうちにはできる人になってほしいですね。今の子どもたちは明るく素直な反面、厳しさに免疫のない子が少なくないようです。けれど、もし社会に出て上司が厳しい人だったら？想像していたような楽しい職場でなかったら？そこで心が折れてしまふような人にはなあってほしくありません。将来どこでも、どんな仕事に就いてもやっていける知恵とたくましい心を身につけてもらうためにも、私はこれからも「笑わないう教師」であり続けます。

卒業生との絆は深く、「あの頃があったから今の私がある」と言ってくれてくれます。教員冥利に尽きる瞬間です。もちろん、その時は満面の笑顔であることは言うまでもありません。

門司区出身。大学卒業後、外資系企業勤務を経て本校に講師として着任。教科担当は国語。その後、教諭として進学クラスの担任を務めたのち、最年少で難関クラスの担任に選ばれ、今年で13年目を迎える。難関クラスでは付属高校初の東大現役合格者を輩出。誠実で的確な教育指導には定評がある。

Profile

笑顔が戻る、その日まで

コロナに負けない！  
マナビを止めない！

2020年、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、

世界は、これまでにない危機に直面しています。

本学も休校や遠隔授業など今までにない試みを

実施している現在も、コロナとの闘いは続いています。

コロナに負けない。そして、マナビを止めないために、

全学を挙げて取り組み続けているコロナ対策や

学生・生徒たちの活動についてご報告します。

新型コロナウイルスに  
対する「九国」の取り組み



## 九州国際大学 学長 メッセージ

新型コロナウイルス感染症が流行し、世界中に蔓延して、まだ収束に至っていない状況が、早、半年続いております。幸い日本国内の感染状況は、世界の先進国の状況と比べると一桁も二桁も感染者の数が少なく、重傷者やお亡くなりになった方々も段違いに少なく抑えられています。ただ収束には至っておらず、毎日新たな陽性反応の方々が確認されています。

こうした状況の中で、中学・高校は三密を避けた日常の授業風景が戻ってきましたが、大学だけはまだその状況に至っておりません。春学期(前期)はこの大学もインターネット利用の遠隔授業でカリキュラムをどうにか終了しましたが、秋学期(後期)はそのまま遠隔実施(大きな首都圏の総合大学等)組と、遠隔・対面授業のハイブリッド形式(混在形式)組とに分かれるようです。九州国際大学は、ゼミや語学など少人数の講義は対面で、大教室授業は遠隔で…という風に分けてスタートします。手洗いやマスク着用、検温の徹底、三密を避ける座席配置等、出来得る環境整備はきちんとした上で、教職員、学生協同して、新しいキャンパスライフの姿を作っていくようではありませんか。

家の中の空いた時間は、新しいことに改めてチャレンジしてみるのは如何でしょうか。じっくり本を読む(紙の本です)、料理に挑戦、体を鍛える他、毎日の自分の生活や家族のことなどを振り返ってみるのも良い機会ですね。

このコロナ蔓延で、世界の国々の状況や動きがはつきりと見えてきました。政治・外交、経済、安全保障、三つの要素が混然となって、それぞれ複雑な動きがみられます。1000年単位の世界史の転換点の時に直面しているかもしれません。

コロナ感染状況の不自由な生活を強いられる中で、これをチャンスととらえ、学生としてどういう日常を送ればよいのか、世界や日本国内の情勢にもアンテナを向け、しっかり反応しつつ着実な一歩を前進させて欲しいと思っております。

「自分と未来は変えられる」

未来の方が圧倒的に長い学生のみなさんは、自分を見つめて、利他的心を養い充実した時を重ねていって下さい。

九州国際大学 学長 西川 京子

## 遠隔授業の継続に伴い 学生に支援金を給付

本学では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と学生の学修機会を確保するため、春学期は遠隔授業を行いました。遠隔授業の受講にあたっては、通信費や通信環境の整備等に要する費用を負担していただいている状況から、学部学生及び大学院生(休学者を除く)を対象に一律3万円の経済支援を実施しました。6月29日まで申請を受け付け、延べ2075名に対し、総額6225万円の支援金を給付しました。

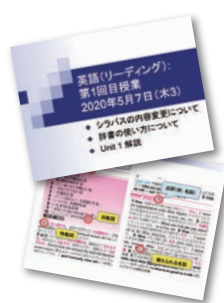
### 各教科で

### オンライン授業を実施

### 「英語の授業の場合」

英語は発音など音声面の指導が大切なので、どのように授業を組み立て、進めていくのが良いか同僚の先生方と打ち合わせを繰り返しました。当初は、春学期の後半から対面授業が再開予定だったため、オンラインでは英語の基礎力を上げることに重点を置きました。とくに、1コマ90分が自宅学習になるため、目的ごとにコンテンツを分割するなど、受講生に飽きさせない工夫を行いました。これまで行っていた授業をオンラインに対応させなければならぬため、通常の倍以上の時間を準備に費やしましたが、今回作成した教材は対面授業の再開以降もWEB上

にアップすることで、出席者の復習教材として、欠席者にはメイクアップ資料としても活用することができ、授業内容をより充実させることができそうです。初めての経験で大変なことも多かったけれど、得られたことも少なくなかったと感じています。



学生は課題文と資料をあらかじめプリントアウトして、オンライン授業を受講します。

## インターネット 配信による表彰式で 本学サッカー部が受賞

一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVASA)の第1回表彰(UNIVASA AWARDS 2019-20)で本学サッカー部がスポーツパーソンシップ溢れるプレーや振る舞いを行った学生を表彰するスポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー賞を受賞しました。東京で表彰式が行われる予定でしたが、コロナ禍のため、インターネット配信による表彰式が3月に行われました。



## Stay Homeを応援!

### ダンスサークルFLAPが動画を配信

ステイホームで勉学に励む学生たちに、健康を維持しながら気軽にストレスを発散してもらうため、部屋の中で気軽に踊れるダンスを本学のダンスサークルFLAPのみなさんに考案してもらいました。緊急事態宣言解除後の5月、メンバー3人に来校してもらい、3密を回避しながら収録が行われ、完成したのが「部屋でダンスを楽しんで」という動画です。前半はメンバーによるダンスパフォーマンス、後半はレッスンビデオが収録されています。みなさんもぜひ動画を視聴しながらダンスを楽しんで、健康維持に役立ててください。



## オンライン授業ができるまで 制作の裏側にズームイン

新年度に替わり授業が開始するまでに、職員全員がオンライン授業のための研修を行いました。新しいソフトを使用するにあたり多くの不安がありました。中には休日を返上し、授業で使う Microsoft Teams の基本操作の習得に力を入れる教員もいました。教科担当は、オンライン授業で生徒がより理解しやすいようにパワーポイントの作成やメタモジを使用しながら、6月の授業再開までは普段と同じような授業を展開していきました。

5月のオンライン授業では、パソコンに不慣れた新入生も多く、当初は戸惑いの連続でした。しかし、担任や支援員のサポートもあり、徐々にどの学年も一通り使いこなせるようになりました。

この時期に学びを止めないように、教務部では、オンライン授業用の時間割を作成し、進路部では、進路部便り「塾的精神」を配信。今年の特通テストの変更点や各大学の情報などをデジタルデータで掲載してきました。このコロナの年に各部署が協力をして生徒の進路を支えようと様々な計画を立てて実行しています。



## 新しい学習のスタイルを 導入して授業再開

6月から学校が再開されました。生徒は毎朝起床後に検温をして、その日の体温を c l a s s i に入力し、毎日の健康管理を行っています。教員はパソコン操作にも少しずつ慣れ、出席管理や課題の配信などもスムーズにいくようになりました。また、例年体育館で部活動紹介をしていましたが、今年は各クラスの L H R の時間などを活用し、3分間ムービーで紹介し興味を持ってもらいました。2、3年生は、学年が上がる際にクラス替えがありクラスメンバーが大きく変わりました。そのため、クラス担任は時間をかけコミュニケーションをとることに力を入れ、人間関係の構築を図っています。

登校が始まってからは、教室の入口にはアルコール消毒液を用意して、授業の休み時間に手の消毒を行い、一人ずつにアクリル板を用意して飛沫の防止を行っています。教員には、フェイスシールドや透明のマスクが配布され、授業中に使っています。



## 寄附を有効活用し 教室に網戸設置

九州国際大学付属高等学校同窓会及び九州国際大学付属高等学校父母教師会より、多額の寄附をいただき、付属高等学校の教室へのコロナ対策としての網戸設置費用の一部として活用させていただきました。



## 卒業生から職員室に 手づくりマスクが届きました!

この春、付属高校を卒業した吉田のかさんが、応援メッセージとともに職員室に手づくりの布マスクを贈ってくれました。在校時から努力家で、目標だった服飾系大学の進学を果たした吉田さん。おしゃれな布マスクは授業の一環でつくったものとか。卒業後も母校を気遣ってくれて、とてもうれしいです。おかげさまで神経を使う多忙な日々のか、心に癒しの風が吹いたような気がします。吉田さん、ありがとう!



## ICTを活用して 授業のLive配信を開始

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け「少しでも体調が優れない人は、無理に登校せず自宅で過ごしてください」という世の中になりました。これまでは「少々調子が悪くても学校に行きましよう」というのが一般的でしたから、大きな方向転換です。

中学校では、このような生徒の学習を保障するため、「授業のLive配信」を始めました。

教室後方に設置した i P a d から授業の様子を配信します。これを見れば、先生の声も黒板の字も確認できるので、自宅にいる生徒は教室にいるのと同じように授業を受けることができます。なかには、i P a d を通して質問したり答えたりという授業も行われています。臨時休校の時は、先生が誰もいない教室から授業を配信しています。

ただ、実際の教室での授業と配信授業とは理解の程度に差があります。これから先、それへの対応も含め、ICTを活用した新時代の教育活動を追求していきます。





本や音楽、恩師など、  
人生の転機となった出会いを  
教えていただきました。



## 九国ブログ

※写真は、ブログ作成に欠かせないパソコンと3代目になるカメラ。  
一眼レフで画質が格段にアップし、生徒たちの表情もよりイキイキと撮れるようになりました。



九州国際大学付属高等学校 教諭

### 小林 剛志

第1学年の担任。授業では歴史を担当。  
入試広報部の副部長を務める。  
授業の合間や放課後はもちろん、休日を返上して  
「九国ブログ」の情報収集に励むことも。

九国ブログ

検索

ありのままの「九国」を  
毎日更新し続けて9年。  
目標は、日本一続く学校ブログ

付属高校のホームページで「九国ブログ」の作成、配信を担当  
しています。2011年のスタートから1日も休まず更新し続  
けて9年。来年で10周年を迎えます。あえて難しいことをやって  
みよう、毎日更新することを自らに課してきましたが、まさか  
ここまで続くとは思っていませんでした。開設当初は「特別な  
情報を届けたい」という気負いもあり、ネタをひねり出すのが大  
変でした。しかし、何もないなら、ないままでいいと視点を変え  
て、学校行事など大きなニュースがない日は放課後や昼休み、自  
習時間やクラブ活動の一コマなど生徒たちの日常を、そのまま  
切り取って発信することでネタ探しに困ることはなくなりまし  
た。保護者の方からも授業参観などではうかがいが知れない、子ど  
もたちの普段の様子がわかると好評をいただいています。

これまでは、骨折での入院や新婚旅行などの諸事情により  
更新記録が途絶えそうな危機!もありましたが(笑)、なんとか  
乗り越えてこられたのは生徒や保護者、卒業生からの「九国プロ  
グ、見えます!」という声を支えてくれたから。多い時には1日  
8000件ものアクセスがあり、何気なく書いた記事でも多くの  
人から反響があるとうれしい反面、責任の大きさを感じています。  
これからも外に向かって開かれた付属高校をアピールするため  
に、ありのままの「九国」を更新し続けていくつもりです。目標  
は、日本一続く学校ブログです。

## 寄附金のお願い

現在、学校法人九州国際大学では、「教育研究用施設設備の拡充」と「教育環境整備」を目的に寄附金の募集を行っております。お寄せいただいた寄附金は、環境整備などに順次充当しております。

つきましては、寄附金の趣旨にご賛同いただき、皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(寄附金目標額1億円、令和5年(2023年)3月31日まで)

なお、寄附金募集に関するお問い合わせや手続確認、振込用紙請求等につきましては、下記までご連絡ください。

連絡先

〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号 学校法人九州国際大学 法人事務局寄附金担当  
TEL093-671-8900 FAX093-671-9032 E-mail kifu@kiu.ac.jp  
本学HPの寄附金情報 <http://www.kiu.ac.jp/about/kifu/>

# 学校法人 九州国際大学 令和元年度 決算状況

平成25年4月22日に文部科学省令第15号「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました（平成27年度決算より適用）。このうち、当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」及び臨時的な収支となる「特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするとともに、当該年度の基本金組入額を控除した収支の均衡を明らかにするものです。

新会計基準に基づく令和元年度事業活動収支決算（旧会計基準の消費収支決算）は、基本金組入前当年度収支差額（旧会計基準の附属収支差額）が3億2,688万円の収入超過となりました。また、基本金組入額の計上はなく当年度収支差額（旧会計基準の消費収支差額）も3億2,688万円の収入超過となっています。

「教育活動収支」における収入は41億544万円、支出は37億5,928万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、3億4,616万円の収入超過となっています。

「教育活動外収支」における収入は491万円、支出は100万円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、391万円の収入超過となっています。

「特別収支」における収入は2,479万円、支出は4,799万円となり、当該区分における特別収支差額は2,320万円の支出超過となっています。

これらを総じて、事業活動収入は41億3,514万円となり、事業活動支出は38億826万円となっています。

なお、令和2年3月末現在の次年度繰越支払資金等（有価証券2億円含む）は27億3,242万円となり、前年度末より2億890万円増加しました。「退職給与引当特定資産」は、9億4,293万円で、学校法人会計基準に基づき当期末退職給与引当金計上額の100%を積み立てた金額となっております。「減価償却引当特定資産」は将来の資産更新に備え、5,000万円を繰入れ14億6,443万円となっています。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して2億2,794万円増加しています。

※ 単位万円以下は四捨五入して表記

## 事業活動収支計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：千円)

経常的な収支のうち、学校法人の本業である教育活動の収支。

経常的な収支のうち、財務活動に伴う収支。

教育活動及び財務活動をあわせた経常的な収支。

特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な収支。

経常収支及び特別収支をあわせた当該年度の収支。(旧会計基準における附属収支差額)

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した額

学校法人に帰属する収入(旧会計基準における附属収入)

人件費、経費、借入金利息等の支出(旧会計基準における消費支出)

| 取入の活動   | 科目            | 予算          | 決算          | 差異       |
|---------|---------------|-------------|-------------|----------|
|         |               | 2,745,903   | 2,743,698   | 2,205    |
| ●教育活動   | 手数料           | 75,411      | 76,140      | △ 729    |
|         | 寄付金           | 4,392       | 4,392       | 0        |
|         | 経常費等補助金       | 910,027     | 915,401     | △ 5,374  |
|         | 付随事業収入        | 59,990      | 58,895      | 1,095    |
|         | 雑収入           | 307,414     | 306,912     | 502      |
|         | 教育活動収入計       | 4,103,137   | 4,105,438   | △ 2,301  |
| ●教育活動外  | 科目            | 予算          | 決算          | 差異       |
|         | 人件費           | 2,277,601   | 2,277,324   | 277      |
|         | 教育研究経費        | 1,179,507   | 1,143,457   | 36,050   |
|         | 管理経費          | 352,677     | 338,376     | 14,301   |
|         | 徴収不能額等        | 0           | 118         | △ 118    |
| 教育活動支出計 | 3,809,785     | 3,759,275   | 50,510      |          |
| ●教育活動   | 教育活動収支差額      | 293,352     | 346,163     | △ 52,811 |
| ●特別     | 科目            | 予算          | 決算          | 差異       |
|         | 取入            | 4,800       | 4,909       | △ 109    |
|         | 受取利息・配当金      | 0           | 0           | 0        |
|         | その他の教育活動外収入   | 0           | 0           | 0        |
| ●特別     | 教育活動外収入計      | 4,800       | 4,909       | △ 109    |
| ●特別     | 科目            | 予算          | 決算          | 差異       |
|         | 借入金等利息        | 1,000       | 1,000       | 0        |
|         | その他の教育活動外支出   | 0           | 0           | 0        |
|         | 教育活動外支出計      | 1,000       | 1,000       | 0        |
| ●特別     | 教育活動外収支差額     | 3,800       | 3,909       | △ 109    |
| ●特別     | 経常収支差額        | 297,152     | 350,072     | △ 52,920 |
| ●特別     | 科目            | 予算          | 決算          | 差異       |
|         | 取入            | 0           | 0           | 0        |
|         | 資産売却差額        | 0           | 0           | 0        |
|         | その他の特別収入      | 24,035      | 24,789      | △ 754    |
| ●特別     | 特別収入計         | 24,035      | 24,789      | △ 754    |
| ●特別     | 科目            | 予算          | 決算          | 差異       |
|         | 資産処分差額        | 48,385      | 47,340      | 1,045    |
|         | その他の特別支出      | 638         | 646         | △ 8      |
|         | 特別支出計         | 49,023      | 47,986      | 1,037    |
| ●特別     | 特別収支差額        | △ 24,988    | △ 23,197    | △ 1,791  |
| ●特別     | [予備費]         | 10,000      | 10,000      | 0        |
| ●特別     | 基本金組入前当年度収支差額 | 262,164     | 326,875     | △ 64,711 |
| ●特別     | 基本金組入額合計      | 0           | 0           | 0        |
| ●特別     | 当年度収支差額       | 262,164     | 326,875     | △ 64,711 |
| ●特別     | 前年度繰越収支差額     | △ 6,576,464 | △ 6,576,464 | 0        |
| ●特別     | 基本金取崩額        | 215,458     | 208,215     | 7,243    |
| ●特別     | 翌年度繰越収支差額     | △ 6,098,842 | △ 6,041,374 | △ 57,468 |
| ●特別     | (参考)          |             |             |          |
| ●特別     | 事業活動収入計       | 4,131,972   | 4,135,136   | △ 3,164  |
| ●特別     | 事業活動支出計       | 3,869,808   | 3,808,261   | 61,547   |

### 【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

#### 【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

#### 【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出になります。

#### 【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

#### 【徴収不能額】

得るべき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得るべき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

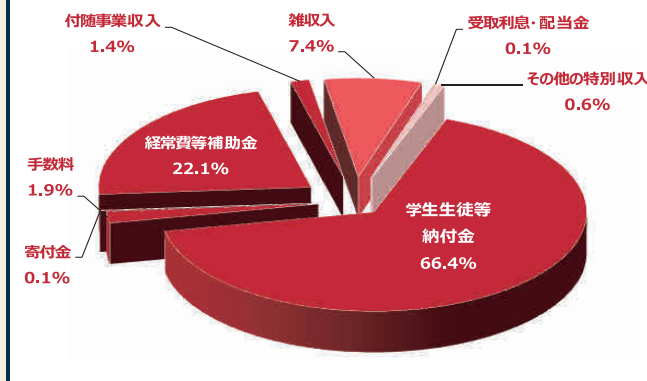
#### 【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

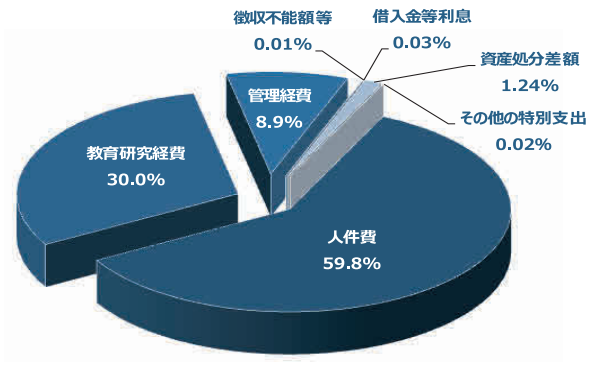
### 事業活動収入に対する各費目の占める割合

事業活動収入計 (4,135百万円)



### 事業活動支出に対する各費目の占める割合

事業活動支出計 (3,808百万円)





## 資金収支計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで) (単位: 千円)

| 収入の部          | 予算               | 決算               | 差異              |
|---------------|------------------|------------------|-----------------|
| 学生生徒等納付金収入    | 2,745,903        | 2,743,698        | 2,205           |
| 手数料収入         | 75,411           | 76,140           | △ 729           |
| 寄付金収入         | 13,019           | 15,676           | △ 2,657         |
| 補助金収入         | 925,435          | 925,435          | 0               |
| 資産売却収入        | 100,000          | 100,000          | 0               |
| 付随事業・収益事業収入   | 59,990           | 58,895           | 1,095           |
| 受取利息・配当金収入    | 4,800            | 4,909            | △ 109           |
| 雑収入           | 307,057          | 306,555          | 502             |
| 借入金等収入        | 0                | 0                | 0               |
| 前受金収入         | 459,680          | 463,887          | △ 4,207         |
| その他の収入        | 82,303           | 173,558          | △ 91,255        |
| 資金収入調整勘定      | △ 684,016        | △ 688,846        | 4,830           |
| 前年度繰越支払資金     | 2,323,518        | 2,323,518        | 0               |
| <b>収入の部合計</b> | <b>6,413,100</b> | <b>6,503,425</b> | <b>△ 90,325</b> |
| 支出の部          | 予算               | 決算               | 差異              |
| 人件費支出         | 2,308,199        | 2,307,908        | 291             |
| 教育研究経費支出      | 913,800          | 878,067          | 35,733          |
| 管理経費支出        | 320,129          | 306,305          | 13,824          |
| 借入金等利息支出      | 1,000            | 1,000            | 0               |
| 借入金等返済支出      | 55,540           | 55,540           | 0               |
| 施設関係支出        | 131,382          | 129,812          | 1,570           |
| 設備関係支出        | 68,173           | 65,812           | 2,361           |
| 資産運用支出        | 150,000          | 200,002          | △ 50,002        |
| その他の支出        | 40,831           | 60,758           | △ 19,927        |
| [予備費]         | 10,000           | 10,000           | 0               |
| 資金支出調整勘定      | △ 23,110         | △ 34,194         | 11,084          |
| 次年度繰越支払資金     | 2,437,156        | 2,532,415        | △ 95,259        |
| <b>支出の部合計</b> | <b>6,413,100</b> | <b>6,503,425</b> | <b>△ 90,325</b> |

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

貸付金の回収額。特定の目的のために積立した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未取となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取壊すための支出。

機器備品、図書、車両などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整すること。

### 【語句説明】 資金収支計算書にのみ表れる主な科目

#### 【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます(新入生の入学金・授業料等)。

#### 【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。  
資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となつたもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

### 【語句説明】 資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

#### 【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

#### 【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。  
具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

#### 【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

#### 【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

#### 【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

#### 【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

#### 【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

#### 【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

#### 【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

## 活動区分資金収支計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで) (単位: 千円)

| 科目                                  | 金額               |
|-------------------------------------|------------------|
| 教育活動による収入                           | 4,105,081        |
| 教育活動資金収入計                           | 4,105,081        |
| 教育活動資金支出計                           | 3,491,634        |
| 差引                                  | 613,447          |
| 調整勘定等                               | △ 200,655        |
| <b>教育活動資金収支差額</b>                   | <b>412,792</b>   |
| 科目                                  | 金額               |
| 施設整備等活動による収入                        | 129,812          |
| 施設整備等活動資金収入計                        | 129,812          |
| 施設整備等活動資金支出計                        | 295,625          |
| 差引                                  | △ 224,306        |
| 調整勘定等                               | 17,078           |
| <b>施設整備等活動資金収支差額</b>                | <b>△ 207,228</b> |
| <b>小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)</b> | <b>205,564</b>   |
| 科目                                  | 金額               |
| 有価証券売却収入                            | 100,000          |
| 退職給与引当特定資産取崩収入                      | 30,957           |
| 貸付金回収収入                             | 295              |
| 預り金受入収入                             | 23,172           |
| 仮払金回収収入                             | 1,181            |
| 修学・研修旅行費預り金受入収入                     | 19,440           |
| 小計                                  | 175,045          |
| 受取利息・配当金収入                          | 4,909            |
| その他の活動資金収入計                         | 179,954          |
| 借入金等返済支出                            | 55,540           |
| 有価証券購入支出                            | 100,000          |
| 退職給与引当特定資産繰入支出                      | 1                |
| 修学・研修旅行費預り資産繰入支出                    | 19,332           |
| 小計                                  | 174,873          |
| 借入金等利息支出                            | 1,000            |
| 過年度修正支出                             | 646              |
| その他の活動資金支出計                         | 176,519          |
| 差引                                  | 3,435            |
| 調整勘定等                               | △ 101            |
| その他の活動資金収支差額                        | 3,334            |
| <b>支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)</b>    | <b>208,898</b>   |
| 前年度繰越支払資金                           | 2,323,517        |
| 翌年度繰越支払資金                           | 2,532,415        |

## 学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより、「学校法人会計基準」という会計ルールに則った会計処理および計算書類の作成をし、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

平成25年4月22日に文部科学省令第15号にて、新たな「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました(平成27年度決算より適用)。当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするものです。

## 計算書類について

### (1) 資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって収入と支出の内容を明らかにし、当該年度の支払資金(現金及び預貯金)の期末を表すものです。

### ※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分で表示し、経営判断に資する財務情報を提供するものです。

活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度(様式)ではないため、予算書の作成は求められていません。

### (2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、本業である教育・研究活動(教育活動収支)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

### (3) 貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

# 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:千円)

| 科目             | 資産の部       |            |           | 負債の部                                                                                            |             |             |           |
|----------------|------------|------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|-----------|
|                | R1         | H30        | 増減        | R1                                                                                              | H30         | 増減          |           |
| ● 有形固定資産       | 13,887,635 | 14,033,930 | △ 147,615 | 長期借入金                                                                                           | 0           | 27,770      | △ 27,770  |
| ● 土地           | 5,270,389  | 5,270,389  | 0         | 退職給与引当金                                                                                         | 942,947     | 973,889     | △ 30,942  |
| ● 建物           | 5,828,047  | 5,962,899  | △ 134,852 | 流動負債                                                                                            | 789,485     | 791,981     | △ 2,496   |
| ● 構築物          | 483,336    | 458,301    | 25,035    | ● 短期借入金                                                                                         | 27,770      | 55,540      | △ 27,770  |
| ● 教育研究用機器備品    | 426,623    | 462,863    | △ 36,240  | ● 短期未払金                                                                                         | 31,125      | 38,150      | △ 7,025   |
| ● 管理用機器備品      | 28,968     | 38,634     | △ 9,666   | ● 前受金                                                                                           | 463,887     | 474,199     | △ 10,312  |
| ● 図書           | 1,842,485  | 1,832,525  | 9,960     | ● 修学・研修旅行費預り金                                                                                   | 94,219      | 74,779      | 19,440    |
| ● 車両           | 6,467      | 8,319      | △ 1,852   | ● 預り金                                                                                           | 172,484     | 149,313     | 23,171    |
| ● 建設仮勘定        | 1,320      | 0          | 1,320     | 負債の部合計                                                                                          | 1,732,432   | 1,793,640   | △ 61,208  |
| ● 特定資産         | 2,407,366  | 2,388,321  | 19,045    | 純資産の部                                                                                           |             |             |           |
| ● 退職給与引当特定資産   | 942,933    | 973,889    | △ 30,956  | 科目                                                                                              | R1          | H30         | 増減        |
| ● 減価償却引当特定資産   | 1,464,433  | 1,414,432  | 50,001    | ● 基本金                                                                                           | 23,703,153  | 23,911,368  | △ 208,215 |
| ● その他の固定資産     | 252,657    | 252,657    | 392,918   | ● 第1号基本金                                                                                        | 23,432,153  | 23,640,368  | △ 208,215 |
| ● 電話加入権        | 3,202      | 3,202      | 0         | ● 第4号基本金                                                                                        | 271,000     | 271,000     | 0         |
| ● 敷金           | 14,640     | 14,640     | 0         | ● 繰越収支差額                                                                                        | △ 6,041,373 | △ 6,576,464 | 535,091   |
| ● 有価証券         | 200,000    | 200,000    | 0         | ● 翌年度繰越収支差額                                                                                     | △ 6,041,373 | △ 6,576,464 | 535,091   |
| ● 預託金          | 34,815     | 34,815     | 0         | ● 純資産の部合計                                                                                       | 17,661,780  | 17,334,904  | 326,876   |
| ● 流動資産         | 2,846,554  | 2,453,636  | 392,918   | 負債及び純資産の部合計                                                                                     | 19,394,212  | 19,128,544  | 265,668   |
| ● 現金預金         | 2,532,415  | 2,323,518  | 208,897   | 【有価証券】                                                                                          |             |             |           |
| ● 未収入金         | 214,680    | 48,578     | 166,102   | 国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的(短期的)な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。 |             |             |           |
| ● 貯蔵品          | 60         | 118        | △ 58      | 【現金預金】                                                                                          |             |             |           |
| ● 短期貸付金        | 50         | 431        | △ 381     | 現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。                                        |             |             |           |
| ● 修学・研修旅行費預り資産 | 93,841     | 74,509     | 19,332    | 【借入金】                                                                                           |             |             |           |
| ● 前払金          | 4,180      | 3,973      | 207       | 長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。           |             |             |           |
| ● 仮払金          | 1,328      | 2,509      | △ 1,181   | 【預り金】                                                                                           |             |             |           |
| ● 資産の部合計       | 19,394,212 | 19,128,544 | 265,668   | 給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。                                 |             |             |           |
|                |            |            |           | 【繰越収支差額】                                                                                        |             |             |           |
|                |            |            |           | 当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。                                                          |             |             |           |

## 【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

### 【○○○引当特定資産】

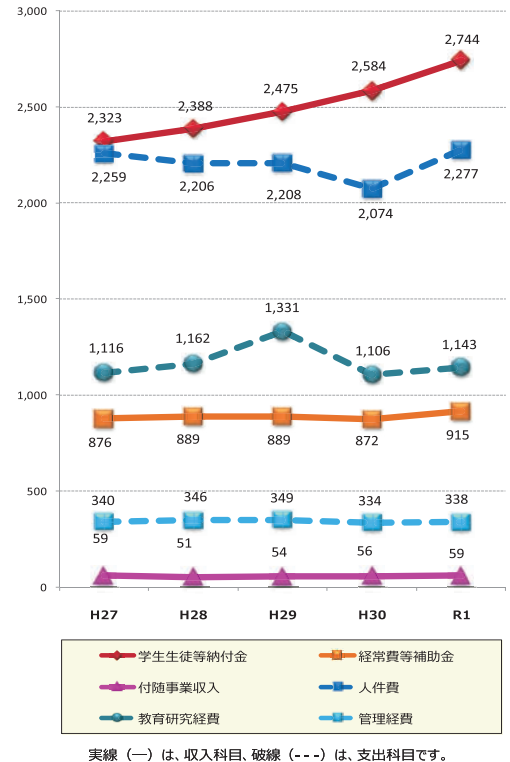
施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

## 事業活動収支計算書(経年比較)

| 科目              | H27         | H28         | H29         | H30         | R1          |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ● 教育活動収入        | 3,524,616   | 3,551,005   | 3,678,753   | 3,681,430   | 4,105,438   |
| ● 教育活動支出        | 3,715,398   | 3,713,615   | 3,888,689   | 3,514,702   | 3,759,275   |
| ● 教育活動収支差額      | △ 190,782   | △ 162,610   | △ 209,936   | 166,728     | 346,163     |
| ● 教育活動外収入       | 15,764      | 6,464       | 4,472       | 4,381       | 4,909       |
| ● 教育活動外支出       | 9,187       | 7,568       | 6,234       | 4,933       | 1,000       |
| ● 教育活動外収支差額     | 6,577       | △ 1,104     | △ 1,762     | △ 552       | 3,909       |
| ● 経常収支差額        | △ 184,205   | △ 163,714   | △ 211,698   | 166,176     | 350,072     |
| ● 特別収入          | 42,332      | 55,583      | 28,886      | 46,172      | 24,789      |
| ● 特別支出          | 5,474       | 7,308       | 9,150       | 4,480       | 47,340      |
| ● 特別収支差額        | 68,268      | 48,275      | 19,736      | 41,058      | △ 23,197    |
| ● 基本金組入前当年度収支差額 | △ 115,937   | △ 115,439   | △ 191,962   | 207,234     | 326,875     |
| ● 基本金組入額合計      | △ 559,025   | △ 133,575   | △ 200,665   | △ 726,566   | 0           |
| ● 当年度収支差額       | △ 674,962   | △ 249,014   | △ 392,627   | △ 519,332   | 326,875     |
| ● 前年度繰越収支差額     | △ 5,479,359 | △ 5,542,607 | △ 5,664,961 | △ 6,057,132 | △ 6,576,464 |
| ● 基本金取崩額        | 611,714     | 126,660     | 456         | 0           | 208,215     |
| ● 翌年度繰越収支差額     | △ 5,542,607 | △ 5,664,961 | △ 6,057,132 | △ 6,576,464 | △ 6,041,374 |
| (参考) 事業活動収入計    | 3,614,122   | 3,613,052   | 3,712,111   | 3,731,983   | 4,135,136   |
| 事業活動支出計         | 3,730,059   | 3,728,491   | 3,904,073   | 3,524,749   | 3,808,261   |

## 事業活動収支の主な科目の推移

(単位:百万円)



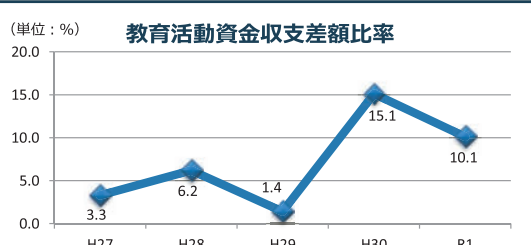
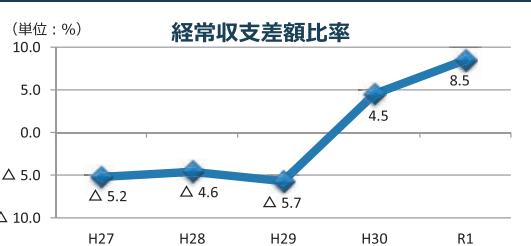
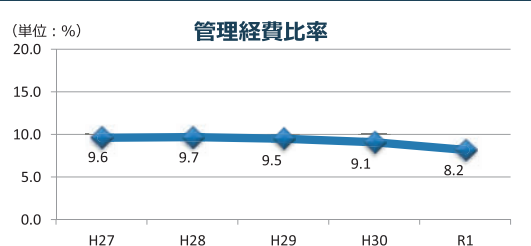
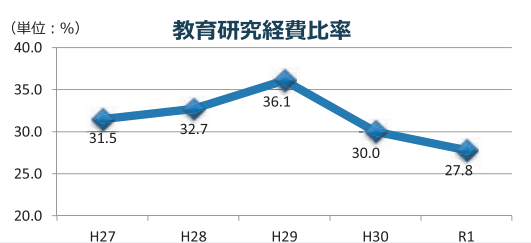
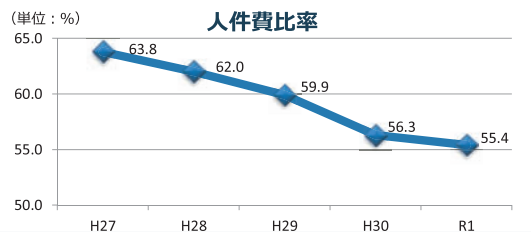


## 企業会計と学校法人会計の違い

企業会計では、会計によって収益と費用を正しくとらえて営業年度の正しい損益を計算し、併せて企業の財政状態、すなわち資産・負債及び資本の状態を知ることによって、より収益力を高め財政的安全性を図ることを目的としています。

一方、学校法人は、教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国・地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人であり、企業のように収益の獲得を目的とすることはできません。したがって、学校法人の会計には、損益の計算という目的はなく、また、一般の企業に比べてより一層の永続性が望まれます。

以上のことから、学校法人会計の目的は、収支の均衡の状況と財政の状態を正しくとらえ、法人の永続的發展に役立てようとすることにあり、その目的を達成するため、計算書類等を作成することになっています。



(注) 財務比率の評価等について

財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえませんが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

【△: 高い値が良い ▼: 低い値が良い —: どちらともいえない】

(注) 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- ① 運用資産 = 特定資産 + 有価証券 (固定資産) + 有価証券 (流動資産) + 現金預金
- ② 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務
- ③ 要積立額 = 減価償却累計額 + 退職給与引当金 + 第2号基金 + 第3号基金

## 貸借対照表関係財務比率

| No. | 比率            | 算式                           | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     | 評価 |
|-----|---------------|------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 1   | 固定資産構成比率      | 固定資産 / 総資産                   | 85.8   | 85.2   | 85.7   | 87.2   | 85.3   | ▼  |
| 2   | 有形固定資産構成比率    | 有形固定資産 / 総資産                 | 72.6   | 71.8   | 72.1   | 73.4   | 71.6   | ▼  |
| 3   | 特定資産構成比率      | 特定資産 / 総資産                   | 11.9   | 12.1   | 12.3   | 12.5   | 12.4   | △  |
| 4   | 流動資産構成比率      | 流動資産 / 総資産                   | 14.2   | 14.8   | 14.3   | 12.8   | 14.7   | △  |
| 5   | 固定負債構成比率      | 固定負債 / 総負債 + 純資産             | 8.7    | 8.3    | 5.5    | 5.2    | 4.9    | ▼  |
| 6   | 流動負債構成比率      | 流動負債 / 総負債 + 純資産             | 3.6    | 4.0    | 6.6    | 4.1    | 4.1    | ▼  |
| 7   | 内部留保資産比率      | 内部留保資産 / 総資産                 | 13.6   | 14.6   | 14.6   | 16.3   | 17.6   | △  |
| 8   | 運用資産余裕比率      | (運用資産 - 外部負債) / 経常支出         | 113.6  | 121.4  | 114.8  | 136.1  | 135.1  | △  |
| 9   | 純資産構成比率       | 純資産 / 総負債 + 純資産              | 87.7   | 87.7   | 88.8   | 90.6   | 91.1   | △  |
| 10  | 繰越収支差額構成比率    | 繰越収支差額 / 総負債 + 純資産           | △ 27.9 | △ 28.7 | △ 31.1 | △ 34.4 | △ 31.2 | △  |
| 11  | 固定比率          | 固定資産 / 純資産                   | 97.9   | 97.1   | 97.4   | 96.2   | 93.7   | ▼  |
| 12  | 固定長期適合率       | 固定資産 / (純資産 + 固定負債)          | 89.0   | 88.7   | 91.7   | 90.9   | 88.9   | ▼  |
| 13  | 流動比率          | 流動資産 / 流動負債                  | 392.2  | 373.4  | 218.6  | 309.8  | 360.6  | △  |
| 14  | 総負債比率         | 総負債 / 総負債 + 純資産              | 12.3   | 12.3   | 12.0   | 9.4    | 8.9    | ▼  |
| 15  | 負債比率          | 負債 / 純資産                     | 14.0   | 14.0   | 13.7   | 10.3   | 9.8    | ▼  |
| 16  | 前受金保有率        | 前受金 / 現金預金                   | 642.4  | 598.9  | 559.0  | 490.0  | 545.9  | △  |
| 17  | 退職給与引当特定資産保有率 | 退職給与引当金 / 特定資産               | 100.0  | 99.7   | 100.0  | 100.0  | 100.0  | △  |
| 18  | 基本金比率         | 基本金 / 基本金要組入額                | 96.8   | 97.2   | 97.7   | 99.7   | 99.9   | △  |
| 19  | 減価償却比率        | (減価償却累計額 / 減価償却資産取得価額) × 100 | 54.8   | 56.4   | 57.6   | 58.3   | 58.5   | —  |
| 20  | 積立率           | 要積立額 / 運用資産                  | 52.3   | 52.3   | 49.7   | 46.1   | 48.9   | △  |

## 事業活動収支計算書関係比率

| No. | 比率         | 算式                         | H27   | H28   | H29   | H30   | R1   | 評価 |
|-----|------------|----------------------------|-------|-------|-------|-------|------|----|
| 1   | 人件費比率      | 人件費 / 経常収入                 | 63.8  | 62.0  | 59.9  | 56.3  | 55.4 | ▼  |
| 2   | 人件費依存率     | 人件費 / 学生生徒等納付金             | 97.2  | 92.4  | 89.2  | 80.2  | 83.0 | ▼  |
| 3   | 教育研究経費比率   | 教育研究経費 / 経常収入              | 31.5  | 32.7  | 36.1  | 30.0  | 27.8 | △  |
| 4   | 管理経費比率     | 管理経費 / 経常収入                | 9.6   | 9.7   | 9.5   | 9.1   | 8.2  | ▼  |
| 5   | 借入金等利息比率   | 借入金等利息 / 経常収入              | 0.3   | 0.2   | 0.2   | 0.1   | 0.0  | ▼  |
| 6   | 事業活動収支差額比率 | (事業活動収入 - 事業活動支出) / 事業活動収入 | △ 3.2 | △ 3.2 | △ 5.2 | 5.6   | 7.9  | △  |
| 7   | 基本金組入後収支比率 | (事業活動収入 - 基本金組入額) / 事業活動収入 | 122.1 | 107.2 | 111.2 | 117.3 | 92.1 | ▼  |
| 8   | 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金 / 経常収入            | 65.6  | 67.1  | 67.2  | 70.1  | 66.8 | —  |
| 9   | 寄付金比率      | 寄付金 / 事業活動収入               | 0.4   | 1.8   | 0.6   | 0.4   | 0.5  | △  |
| 9   | 経常寄付金比率    | 教育活動収支の寄付金 / 経常収入          | 0.0   | 0.3   | 0.2   | 0.2   | 0.1  | △  |
| 10  | 補助金比率      | 補助金 / 事業活動収入               | 25.1  | 24.6  | 24.3  | 24.4  | 22.4 | △  |
| 10  | 経常補助金比率    | 教育活動収支の補助金 / 経常収入          | 24.8  | 25.0  | 24.1  | 23.7  | 22.3 | △  |
| 11  | 基本金組入率     | 基本金組入額 / 事業活動収入            | 15.5  | 3.7   | 5.4   | 19.5  | 0.0  | △  |
| 12  | 減価償却額比率    | 減価償却額 / 経常支出               | 8.6   | 7.8   | 7.2   | 7.8   | 7.9  | —  |
| 13  | 経常収支差額比率   | 経常収支差額 / 経常収入              | △ 5.2 | △ 4.6 | △ 5.7 | 4.5   | 8.5  | △  |
| 14  | 教育活動収支差額比率 | 教育活動収支差額 / 教育活動収入計         | △ 5.4 | △ 4.6 | △ 5.7 | 4.5   | 8.4  | △  |

(注) 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計

「経常支出」 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

## 活動区分資金収支計算書関係比率

| No. | 比率           | 算式                                | H27 | H28 | H29 | H30  | R1   | 評価 |
|-----|--------------|-----------------------------------|-----|-----|-----|------|------|----|
| 1   | 教育活動資金収支差額比率 | (教育活動資金収入 - 教育活動資金支出) / 教育活動資金収入計 | 3.3 | 6.2 | 1.4 | 15.1 | 10.1 | △  |

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

## 学校法人九州国際大学

- 大学 法学部 / 法律学科 現代ビジネス学部 / 地域経済学科・国際社会学科
- 大学院 法学研究科
- 付属高等学校 難関クラス / S特進クラス / 特進クラス / トップアスリートクラス
- 付属中学校

## University



写真は、万全のコロナ対策のもと8月に行われたオープンキャンパス

事前申込必要

### オープンキャンパス ズバリ解説！入試直前

『学校推薦型選抜・総合型選抜のポイント』

令和2年10月3日(土) 13:30~15:00

受付開始/13:00から

学校推薦型選抜&総合型選抜のポイントを解説！

- ガイダンス(学部説明、コース特色紹介)
- 在学生によるキャンパスツアー
- 個別相談：学部説明、コース特色紹介 など

オープンキャンパスの詳細はホームページにてご確認ください。

お申込みは / TEL. 093-671-8916  
 FAX. 093-671-8995  
 Email. admission@kiu.ac.jp



## High School



入試ワンポイントアドバイスも実施！

### オープンスクール

令和2年10月17日(土) [文系編(国・社・英)]

令和2年11月7日(土) [理系編(数・理・英)]

10:00~12:30

(12:30以降のプログラムは自由参加)

学校説明&保護者ガイダンス

クラブ見学 / ランチ体験 / 入試過去問題配布 など

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:30から20分毎に運行

### 放課後のオープンスクール

令和2年11月13日(金) 18:30~20:00

学校見学&クラブ活動見学 など

新型コロナウイルスの影響により、変更の可能性が有ります。前日に必ずホームページをご確認ください。

お申込みは / TEL. 093-671-8443  
 FAX. 093-671-9028  
 Email. 959h@kif.ed.jp



## Junior High School



小学6年生および保護者対象

### 九国プレ2020 学校・入試説明会

令和2年10月25日(日) 9:10~11:40

無料送迎バス / JR枝光駅発 8:10, 8:30, 8:50

授業を見てみよう！

### 秋の学校見学ツアー

令和2年11月14日(土) 9:20~12:00

新型コロナウイルスの影響により、変更の可能性が有ります。前日に必ずホームページをご確認ください。

お申込みは / TEL. 093-671-9001  
 FAX. 093-671-8998  
 Email. 959j@kif.ed.jp



学園広報誌 九国の扉 ~キエトビ~  
 vol.18 / 2020

発行日 / 2020年9月30日

発行 学校法人九州国際大学

学園広報誌作成委員会

〒805-8513 北九州市八幡東区平野2-5-1

TEL. 093-671-8900 FAX. 093-671-9032